

農村伝道神学校学報

学校法人 鶴川学院
農村伝道神学校
発行人：ロバート・マ
ウイットマー

支えられた七十年を感謝し前に進む

理事長 禿 準一

二つの衝撃、一昨年会津で開かれた保育科同窓会の解散が決まった場にいた私は、野津田の山の上で共に学んだ者として、保育科が本当に終わってしまったと衝撃を受けました。ところが卒業生の方たちが「私たちの母校は農村伝道神学校であり、保育科は農村伝道神学校保育科だった」と言い自分たちの母校がなくなつたのではないと言い、皆さんもそう同意したのでした。私には涙がでるほど嬉しい二つめの衝撃でした。十年ほど前の新ストーン記念館の建築献金のお支えも、保育科卒業生が神学科卒業生を凌いでいた意味が分かりました。私は衝撃に突き動かされ、誰にも相談なく、その場で来年は農村伝道神学校の創立七十年の記念会を行うと声をあげま

した。廃科、同窓会解散しても保育科同窓生が学校から遠くになつてしまつたのではないことを皆さんに伝えたいのです。高柳前校長と私は、東北の大震災の地の最初の問安から、毎夏各地の卒業生を訪ねました。そこで多くの良き働きの人の保育科卒業生に会いました。これも衝撃の感動でした。

また保育科の卒業生には同窓や他の神学校を出た牧師と結婚し、教会に仕えた人が大勢います。私のクラスの前後にも十指に近く、その一人高森茂光牧師（二期）から、「久子さん（保育科七期）がいなかったら牧師職を全うできなかった」と夫人を偲ぶ言葉を聞きました。昨年は保育科一期生江藤喜代子さん（渡島福島教会、牧師江藤政弘夫人）と

二期生 藤田保子さん（串木野教会牧師 藤田房二夫人）が、長い主にある務めを終えて天に召されました。二人とも農伝スピリットの塊りをもって生きた神学校創立期の保育科生でありました。

七十周年記念会の説教者を、アジア学院理事長の星野正興牧師（神学科一八期生）が担ってくださったのは特別の意義がありました。感謝なことでした。一九七三年に東南アジア科が廃科となりアジア学院が独立したことによりネガティブな憶測、風聞の類がありました。四十年史「荒野を拓かん」で、当時の西那須野教会の故福本治夫牧師（神学科五期生）が移転を支えた経緯を簡潔に伝えて下さっています。確かに分離は辛いことでしたが、今は良い関係が続いています。絆を深めたのは、東北の大震災の原発事故の折に、アジア学院の学生とスタッフが、西那須野の地から避難して三ヶ月鶴川の農伝の地で共同の生活をしたのです。それ以後神学科の学生の実習の受け入れも始まり、アジア学院の学生の恒例の国内研修には、必ず鶴川、農村伝道神学校に寄って出発してくれまふ。それは神学生にも刺激的な体験です。荒川朋子現校長は私たちの神学校の評議員です。故大津健

一前校長・前理事長も評議員でした。先生を病床に訪問、また告別式も横野朝彦前理事長と理事長の私が出席しました。心に深い思いが残っています。私は一二月の高見敏弘先生の記念会にも出席し、先生の素晴らしい働きの実りを拝見させていただきました。

今から三十年前の一九八九年に創立四十周年の会をもって以来の創立記念会でした。四〇年誌で追悼した亡き神学科同窓生は二人でした。廃科となった保育科や農業研修科については正確に把握できていませんが、その追悼文の執筆者自身五人も召され、この七〇年間は七〇人以上の同窓生が召されています。私の周りでは自分を含めて隠退する人も決して少なくありません。しかし私たちの小さな神学校を志願し学び宣教の現場に出る人を送りだし続けるのは、まことに光栄で感謝です。卒業生の殆どは地方の小さな困難の多い教会で地域の課題を担い、地域に根差した働き人になることを目指しています。教会員の高齢化や会員の減少などで、ときに教会を限界集落かのように見て、殊更に「伝道」を口にしますが、思えば私たちの先輩は初めからそうした農村社会で生き抜いてきたのです。

ウイットマー校長のこれまでの経験から学ぶこと大です。道北の地での長い経験、地方の小教会の課題、連帯、教会が地域社会で用いられるための牧師の務めなど、またカナダ合同教会の教職制度、聖餐・主の食卓、礼拝の多様性、差別との闘いなどは知ることは実に刺激的です。君島校長時代に道筋ができた台湾の玉山神学院との交換交流は続き、今年度も学生が良い体験をしました。さらにカナダの先住民の神学校との交流も考えられます。二月五日の記念会にはカナダ合同教会本部のパティ・タルボットさんアジア担当ディレクターも参加しました。ウイットマー先生が、昨年一〇月に教団総会中に北村慈郎牧師支援の会で行った最近の解放的なカナダ合同教会についての講演は、チャレンジングな内容でした。関心のある方は是非「北村慈郎牧師の免職撤回を求め、開かれた合同教会を作る会」（通信二二号）をご覧ください。

私はこれからの日本キリスト教団に、かつて本校が訴えた実践した社会や地域、教会間の連帯に関わる「伝道圏伝道」や「信徒宣教師養成」が再び大事な課題となると思っている者です。

農伝を訪ねて

ビル&カレン・バット



「イスラエルの人々はラメセスからスコトに向けて出発した：そのほか、種々雑多な人々もこれに加わった。」出エジプト記一二・三七―三八

はじめに、ロブと圭子のもてなしと学報のために私たちの訪問とその印象について文章を書く機会が与えられたことを感謝します。二〇一八年一月、二週間を一緒に過ごしました。観光旅行ではなく、観光客と一緒にいたのは鎌倉の大仏を見に行ったときだけです。私たちの滞在は短かったのですが、東京における教会の働きについてとても豊かな力を得た経験でした。カナダ合同教会の二人のカナダ人には農村伝道神学校がどのように見えました。

神学校に向かう時の第一印象は、三八一四万人が住む東京の首都圏を離れて森のある坂を登るということでした。東京の首都圏の人口はカナダよりも多いです。農伝に来ると何かが違うと感じて、それは何かと知りたくなります。

もう少し上ると宣教師が住んでいた北アメリカのような建築の家が見え、この神学校に日本と北アメリカの人たちが協力したことに気付きます。旧約聖書の出エジプトの時にエジプトを出たのはイスラエルの人々だけでなく、他の人々も加わったことを思い出しました。

もっと高くまで上ると、管理棟が見えてきます。最初に見ていたのは車椅子が使えるスロープでした。これを見てこの神学校は多様性を大切にしていることがわかります。障がいのある人も、隅に追いやられた人も歓迎されています。その建物に入ると、事務所のスタッフが暖かく迎えてくれます。ロビーを見まわすと右側に神学校の歴史的な物が丁寧に置いてあるテーブルがあります。左側を見ると窓の

向こうに庭があります。それを見てこの神学校の使命の一部は自然の環境と関係を持つことだと気づきます。前を見ると神学校の後援会が神学校を支援するために売っているものがあります。食べ物、はがき、竹で作った笛と十字架、などいろいろあります。この神学校は閉じられた修道院ではなく、学生でもスタッフでもない世界の多くの人々と関係を持つようとしています。

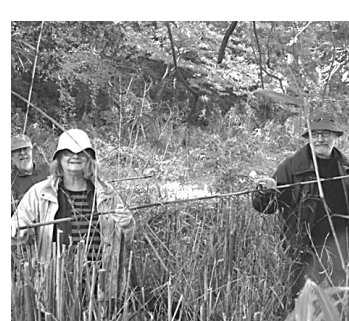
そして、パンフレット、通信、チラシ、ポスターも置いてあって、いろんな集会や活動を紹介しています。教団のものだけではなく、幅広い活動を紹介しています。まだロビーにこの神学校は学問をする所だけではなく、社会正義を学ぶ所だという印象を持ちます。虐待を受けている

子どもたち、性的少数者、暴力を受けている女性、外国の労働者、アイヌ民族、沖縄の人々、部落差別、また地方に住む人々の課題を大切にしていきます。

繰り返になりますが、私たちの二週間の経験から、これは坂を降りた所の文化とぜんぜん違います。日本のステレオタイプですが、日本の男性はスマイルしない、暗色の背広と、ワイシャツを着ていて、あらゆる場所で宣伝して

いる電気製品、パチンコの機械、アニメのキャラクターを作るような職場に向かう。この一生懸命に働くメンタリティーは「頑張る」に基づいていることを学びました。そして、「頑張る」生きて行くためにその反対の側面も必要だと思いました。日々「可愛いこと」、「明るいこと」そして力を抜くアニメが必要ではないでしょうか。テレビの天気予報でもアナウンサーはポンポンがついている長いステイックを使って天気の説明をします。

神学校で会ったみなさんはまた違う生き方をしている。「頑張る」でもなければ、「ハローキティ」でもないです。追いやられた人々と手をつないで共に歩こうとしていると思います。北海道、沖縄、長野、大阪と横浜の人々に会いました。スーパードで床を掃除している人、山で人を助ける仕事をしている人、子どもの絵本の出版社で働いた人、中近東の言葉と聖教会の歴史に詳しい人に会いました。神学校を訪ねたフィリピン人にも会えて、そしてアジア学院で勉強している一〇ヶ国の人々に会いました。



コミュニティワークに参加



英会話クラスのメンバーと

ムは本当に多様で、素晴らしいと思います。聖書の釈義と教会史を勉強しますが、それだけではなく、農村伝道論、フェミニズムと解放神学も勉強しています。

毎週の体操の時間も大好きでした。神学校のみなさんは健康は心と思っただけではなく、体にも必要です。パウロは体を「神殿」だと言っています。コミュニティワークも大好きでした。太陽が神学校と隣の農家に届くように竹を刈りました。イエスの宣教はほとんど農村で、種について多くの例えを語りました。

週二回の礼拝も良かったです。毎週違う人が話をして、礼拝の中で自分の経験と賜物を分かち合いました。

教団の多くの教会が幼児教育に関わっていることもとてもいいことだと思いました。教会の礼拝においても七歳、五歳、と三歳の子どもたちが神道の神社で祝福を受ける日に教会でも着物を着て祝福とプレゼントを受けました。寿地区センターの活動にも参加が出来てとても良かったです。これは失業、貧困、ホームレスの状態、依存症で苦しんでいる人々を助ける実用

的な働きだと思いました。どの福音書を見てもイエスは多くの人々に食べ物を与えます。多くのカナダ人は日本を思うと日本の車、ハローキティ、またビートルズのジョン・レノンと結婚したオノ・ヨーコが浮かびます。私たちに日本の違う側面を見せてくれたことを心から感謝します。みなさんの神学校はただの組織ではありません。その働きは官僚的な「教会主義」でもありません。この神学校はイエスキリストに学び、実用的な愛し合う関係を求める神学校だと思います。

農村伝道シンポジウム報告

三年 横内美子



星野正興牧師

農伝シンポジウムが一月三十一日ストーン館において

行われました。講師は愛川伝道書の星野正興牧師で、「農村伝道」について話して頂きました。星野先生は大阪市生まれで家は農家ではないため、農業は全く新しい境地だったそうです。神奈川県茅ヶ崎市で育ち、農村伝道神学校を卒業されて一九七三年に按手を受けました。秋田県八郎潟教会に一七年間、カナダ合同教会の農村宣教師として三年間赴任しました。その後

一〇年間は三鷹教会牧師、この時農村伝道神学校教師をされ、神学生と共に歩まれました。そして伊豆の松崎教会で一八年間牧会して隠退されたが石巻、埼玉教会に、二年前から自宅から三時間かかる愛川伝道所で再び、牧師職に従事されることになりました。また、アジア学院理事長も兼務されています。星野ご夫妻は、去年の六月に大病されました。しかし大分快復されお元気で、集まった皆さんの祈りのうちに先生を中心に和やかな雰囲気の中農伝シンポジウムが始まりました。「農村」という言葉を追って、講演は一九二〇年代から今日に至る農業、またその伝道、牧会におけることが力強く語られました。「農村伝道」という言葉は近現代になってつくられたものですが、一九二一年アメリカで行われた世界宗教者会議でルーラル・エバングリオンが元ではないかというお話しでした。この頃、社会状況は深刻で世界的規模になっていました。時代は違いますが、日本での農制は戦後、天皇制地主制度、農地改革、農業基本法、農政の流れの中で農業国から商

工業国へと変化していきまし。一九七〇年代のこのような状況は先生が伝道していた秋田県八郎潟でも起こりました。具体的に、お金になるために農地を手放していくことになっていったそうです。商工業地にするために、米作りをしていた農地を手放して行った末、先生は青年の目に輝きがなくなり、学ぶ意欲がなくなっていくと言います。そして、これらが「自分（青年自身）の怠惰によるもの」としていたのだ」というのです。わたしはどうして、この青年が怠惰だと思ったかを考えてみました。青年は一年がかりで米が採れることを知っているから、知らなければ怠惰であるとは思わないんじゃないか。自分を怠け者となじった非常に謙虚な青年に先生は出会われたのだと、わたしは思いました。わたしはこのような気がします。

土地よりお金を選択していく姿を誰が止められるだろう。そのお金でお米を買って、炊いて食べた時、青年は何を思ったろう。一杯の御飯にさぞや驚いたことだろう。耕さなくても食べられた。泥に汚れず、汗だくにならなくても食べられた。青年よ、あなたは今、楽になったことは幸せなことなのだと、思わなかったのか？ そうなのかな？ 秋田県八郎潟で米作りをやめた青年が居た。米を作らないことを怠惰によるものだとした青年が居た。近現代にあわててできた言葉。 「農村」。 農村青年が肩を落として産んだ言葉。 「農村」。 先生はこのような制度の中にあつて、立体農業を広げようと、今も田んぼを作り続けています。この農法はデンマーク農業といいアメリカ農業とは相反します。持続可能な農業で有機農業ともいえます。そして教会はこのような農業を励していく。農業を学ぶこと、農村伝道をしていく。誰でもできる、小さなことから。自分から出掛けていく。終わりに、説教は庶民の言葉です。讃美歌は大きな声で高らかに歌う。温かなお人柄からでる、分かりやすいお話しでした。ありがとうございます。

学事報告

◆二月七日(金) 待降節礼拝
説教…本田栄一

◆二月一〇日(月)～一五日
(土) 集中講義(禅キリスト教「接心」 佐藤研)

◆一月三十一日(木) 農村伝道シンポジウム 講師…星野正興
◆二月五日(火) 卒業論文発表会
二月五日(火) 農村伝道神学校創立七〇周年記念会

◆二月二日(火)～一五日(金) 集中講義 (解放講座D…島しづ子)

◆三月六日(水) 午後一時三〇より第六九回卒業式を行った。メッセンジャーには東北教区議長小西望氏を迎えた。「最初のしるし」

卒業生は、鳥羽加陽子(とばかよこ)、中島幸人(なかじまゆきひと)、吉野結(よしのゆい)

二〇一八年九月以降の常務理事会で協議された内容にもとづいて報告する。

ウィットマー校長は四月以来、近隣の二〇を超える教会の礼拝に出席し、主に卒業生を問安し、説教、講演などの依頼にも応えている。九月には滋賀地区の信徒大会、一〇月には北村慈郎牧師を支える会で講演した。十一月にはアジア学院との交流会が行われ

三一名が来校した。一月にはカナダ合同教会より、カレン、ビル・バットさん来校。

一二月は高見敏弘氏の記念会に参列した。一二月一五日～

一月六日までカナダでカナダ合同教会との協力関係について話し合いを重ねてきた。

創立七〇周年記念事業委員会が発足し、委員長のもとに開催され、事業計画が協議された。二〇一九年二月五日に農伝チャペルでの記念礼拝を行い、ゲストにカナダ合同教会よりバティ・タルボット、ジョン・ダーフィさん参加。

七〇周年募金活動開始することとを決め、目標額は一五〇〇万円。七〇周年記念誌については二〇一九年度に刊行予定。

学内の課題としては農伝敷地の管理について早急に対策を講じる必要があり、農地管理

委員会を急遽開催し、農地管理について継続して検討することになった。農伝シンポジウムは一月三十一日に開催され

講師として星野正興牧師を招き、主題「農村伝道」について講演を聴き意見交換した。

シオン幼稚園は神学校との共催行事「シオンデー」を二月二〇日に開催した。アドベント礼拝の奨励をウィットマー圭子さんに、保護者準備会ではウィットマー校長に講演を依頼し、好評であった。

一月に入り、インフルエンザの欠席者が増えた。インフルエンザに罹患した後、登園する場合

は治療証明書を書き、記入のうえ許可している。二学期から水曜日の午後、園児降園後の時間帯を園児の記録を記述する時間として月二回、職員が自由に確保できるように試

みている。来年度の園児募集は終了し、新入園児と在園児と合計数は九五名である。(二月末現在)

常務理事会の取り組んでいる課題として以下の二点をあげておく。*神学校の施設管理の課題として学生寮の老朽化、校舎設備の取り換え、保守点検、宣教師館などの建物撤去などの検討が早急に必要である。*学費、寮費が据え置かれているが、入学諸経費も併せて学生負担額を検討するときに来ているのではない

か、他の神学校の諸経費なども参考にして新たな案を検討する。(書記…本田栄一)

◆四月三日(水) 午後一時三〇分より第七一回入学式 メッセンジャー・ウィットマー校長

お知らせ

◆四月三日(水) 午後一時三〇分より第七一回入学式 メッセンジャー・ウィットマー校長

「理解できないこと」

◆四月四日(木) 午前九時…オリエンテーション

午後一時…始業講演 講師…堀江有里(本校講師)

「天皇代替わりの時代を考える」キリスト者の「責任」をめぐる「公開です。AB教室にて

◆四月五日(金) 午前九時～午後四時『禅キリスト教入門』オリエンテーション講師…佐藤研氏(本校講師) 聴講希望者は事務所までお申込みください。受講料三千元。昼食は各自持参。なお、このオリエンテーションは四月二日(金) 通年の科目として始まる「黙想」(坐禅)の時間のオリエンテーションにもなりますが、この日だけの聴講も可能です。

◆四月九日(火) 二〇一九年度通常授業開始。聴講を希望の方もこの日から授業開始です。

2020 年度入学案内

◆受験資格

- (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後1年以上(洗礼式を行わない教派については、それに準ずる)の教会生活をしている者。
- (2) 所属教会が推薦し(可能であれば)、高卒または同等以上の学力を有すると認められる者。

◆修業年限

- 神学基礎コース：2年間(2年間で修了することも可)。
- 基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
- 神学専門教職者養成コース：2年間
- 神学専門信徒宣教師養成コース：1年間または2年間

◆学費

- 入学金 60,000 円(入学時のみ)
- 授業料 240,000 円(年額)
- 設備費 30,000 円(入学時のみ)

◆受験手続

次の書類を期日までに郵送または持参する。

- (1) 入学願書(本校指定の書式)
- (2) 履歴書(本校指定の書式)
- (3) 教会(牧師または役員会)の推薦書(可能であれば)
- (4) 最終学校卒業証明書(または卒業見込み証明書)
- (5) 受験料 10,000 円(振り込み)

◆入学願書受付

- 第1回 2019年10月8日(火)～11月8日(金)
- 第2回 2020年1月7日(火)～2月7日(金)

◆入学試験日時

- 第1回 2019年11月19日(火) 午前9時～午後3時
- 第2回 2020年2月18日(火) 午前9時～午後3時

◆会場 本校教室

- ◆入学試験科目 (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接

◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください(無料)。

農村伝道神学校

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024

Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711

Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www.noden.server-shared.com>

振替番号

農村伝道神学校 00160-6-18485

農村伝道神学校後援会 00120-6-24418